

非常持ち出し袋チェックリスト

<input type="checkbox"/>  懐中電灯	<input type="checkbox"/>  軍手	<input type="checkbox"/>  トイレットペーパー	<input type="checkbox"/>  タオル	<input type="checkbox"/>  マスク	<input type="checkbox"/>  レジャーシート
<input type="checkbox"/>  ペットボトル (水)	<input type="checkbox"/>  歯ブラシセット	<input type="checkbox"/>  非常食	<input type="checkbox"/>  食品用ラップ	<input type="checkbox"/>  笛	<input type="checkbox"/>  常備薬

あなたの避難場所 各町会で決めていますので、記入しておきましょう

一時集合場所

避難場所へ避難する前に、近隣の避難者が一時的に避難して様子を見る場所

避難場所

火災から身を守るために一時的に逃げ込む場所、身を守る場所

避難所

災害で自宅に過ごすことが危険な場合に提供される場所

災害用伝言ダイヤルの利用方法 毎月1日、15日は体験利用日 **171**

伝言の録音

- (1) 「171」にかける
- (2) 「1」 + 「市外局番からの電話番号」
- (3) ガイダンスが流れた後、伝言を録音

伝言の再生

- (1) 「171」にかける
- (2) 「2」 + 「市外局番からの電話番号」
- (3) ガイダンスが流れた後、伝言を聞く

防災行政無線からの放送が聞き取れなかったときは

電話応答サービスの電話番号【0120-357-411】

注意

- 録音されている放送内容は、最新の20件です。
- 放送から24時間経過すると放送内容は削除されます。
- 災害時には、電話が集中することが予想されます。

桜川版

防災情報



支え合い会議桜川とは……？

「誰にとっても住み続けたいと思える桜川地域を作ろうと」6つの町会と地域で活動している方々、その他多様な関係機関の有志がメンバーとして集まった協議体です。地域のお困りごとがあったら、ご連絡ください。また、一緒に活動してくださる方も募集しています。

大地震発生



その瞬間：最優先で自分の命を守る

強い揺れで家具類の転倒、窓ガラスの破砕等で負傷したり、命を落としたりすることがあります。

周りの様子を見ながら「落ちてこない・倒れてこない」を確認後、安全な場所へ移動し、自分や家族の命を守ることを最優先に考えて行動します。あわてずに落ちついて行動します。

発生直後の行動

★揺れが収まってから行動する。絶対にあわてて外に出ない。

★火元を確認する。出火したら、落ちついて初期消化にあたる。

★出口を確保する。いつでも避難できるように。

★外の様子を目視し状況を確認する。

地震がおさまっても

- ①火をつけない。
- ②ブレーカーを上げて通電させない。
- ③電気のスイッチに触れない。
- ④エレベーターは使わない。
- ⑤不要不急の電話は使わない。
- ⑥裸足で部屋の中を歩かない。
- ⑦一人で救出活動をしなない。
- ⑧車を使わない。

避難の判断

その1 正しい情報を取得

★間違った情報で行動すると危険な目に遭いかねません。テレビやスマートフォン等で正しい情報を得ます。

その2 家族の状況を確認

★一緒にいる家族同士でケガがないか、家に危険がないかを確認します。

その3 家の内外を目視

★家の中をチェックします。火の始末、出口の確保など、ラジオなどの情報を聞きながらまわりの状況を目視します。

避難の流れ

